

日 時	令和3年10月21日(木) 13:00~14:30
出席者	企画部長 事務局
相 手	なめがた未来のまちづくり協議会委員 15名
場 所	麻生庁舎情報交流センターホール
主 旨	第3回なめがた未来のまちづくり協議会
内 容	<p>件名につきまして、別紙のとおり開催いたしました。</p> <p>1. 開会 司会：政策秘書課長</p> <p>2. あいさつ： 秋山会長</p> <p>コロナで様々な選択肢が出るようになった。様々な角度から、意見を出していきたい。オンライン会議ではやりにくいこともあると思うが、どうぞよろしくお願ひしたい。</p> <p>3. 議題</p> <p>(1) 行方市総合戦略(改定版)(素案)について 事務局)</p> <p>総合戦略について経過・概要・今後のスケジュールを説明</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今後のスケジュール</li><li>11/5(金)パブコメ終了</li><li>11/10(水)創生本部</li><li>11月下旬 総合戦略完成</li><li>12月以降 総合戦略実施計画の策定に着手</li></ul> <p>意見提出シートの意見に対する回答</p> <p>委員)質問</p> <p>総合戦略は各自治体で作成している。いろんな面に気配り、総話的になりやすいことは理解しているが、行方市ならではの、尖らせているところはどこか?</p> <p>政策秘書課長)回答</p> <p>総合戦略では8、9Pに記載した。千年にわたって暮らしてきた、住みやすい地域で、湖・台地もある。歴史、自然の価値を高めていく、ということを総合戦略で訴えたい。</p> <p>なめがたエリアテレビは一足先に取り組んだこと。時代に合った情報発信、視覚で分かるということは大切。これらをアピールして、市の魅力も上がる。</p> <p>委員)感想</p> <p>考えていたような回答は得られた。そのままよろしくお願ひします。</p> <p>委員)質問</p>

基本理念とは「ぶれないもの」だと認識していた。5年前に作ったものは、20年・30年後まで使える理念を示していたと思う。総合戦略は各種計画の上位計画であり、整合性を図りながら作る。行方市のまちづくりの根幹になる計画の、その根幹になる基本理念が変わっている。目指すまちづくりは変わっていない、でも基本理念は変わっている、その議論の経過を知りたい

現行の基本理念に沿って、議員活動をしていくと市民に約束してきた。とてもよい理念だったので、変えなくてもよいのでは？基本理念を変更されると心配になる。

政策秘書課長) 回答

前は「身の丈に合った市政運営」と記載し、そこは変えた。100人委員会を実施してきて、編集を進める中で、行方市の状況を考えて、現行の基本理念を「守っていくべき」「変えていくことも必要」という意見は出た。

価値をアピールし、お金をかけるよりも工夫とアイデアで進める方がよいのではという意見がある。「身の丈に合った」は守りつつ、「できるだけことはやっっていこう」という意味を持たせて「行方ならでは」という表現にした。

委員) 感想

本市に合った取組をすることの大切さは理解している。将来像に「行方ならでは」という表現があって、その取り組みの姿が「基本理念」では？同じことを言っても…という思いがあり、理念は変える必要が分からない。

会長) 進行

事務局からあれば。

企画部長) 回答

この5年間は「身の丈にあった市政運営」を目指してきたが、「身の丈に合った」からは外れる取り組みもあった。だからこそ表現は悩んだが、基本理念を変えるべきではない、という意見も分かる。今後少々の変更を加えることも含めて、検討することをご了承いただきたい。

委員) 質問

5つの重点プロジェクトには非常に興味あるがあり、大切なパート。ただし「何かすでにやっていることがあって、他に重点を置く」ということなのか、「全体の中で、重点を置く」という事なのかが分かりにくい。「重点」という表現は誤解を与えかねない。表現は慎重に選んでいただきたい。

「プロジェクト」という言葉も、テーマを設定しているという意味はわかるが、一つずつを「プロジェクト」と整理するのに違和感。別の用語を使えるなら、検討して欲しい

100人委員会の意見を取り入れて、施策に反映しているのは評価できるが、

これからどのように実施していくか考えることが大切。これからの取り組み方に、市民がどのように関わるか。「市民が作って、市が実施する」というのはもったいない。「市民と市が協働で実施する」と謳ったものがいっぱいあるといい。市民から見て「一緒にやっていくんだ」というものを出してほしい。

SDGs に関係がある、というのもわかりやすく良いが、どういう風に達成していくのか、どのように関わるのかを表現できたらよい。

会長) 感想・進行

総合戦略は市民の声、議員の声も入りながら作っており、個別計画に沿って実施されているのが実態。どの自治体も人口減少・高齢化に対して費用が膨らんでいるという課題は共通で、この課題にどう対応していくか。

事務局から

政策秘書課長) 回答

「重点プロジェクト」の表記、これまで進めてきた中では意見がなかった。「重点」という表現は現行のものから引き続けているものなのでこの場では回答を避けるが、検討したい。指摘を受けないと気づきもしないので、ご指摘はありがたい。

「市民と協働で取り組む」、これが総合戦略の骨子でもある。大切にしていく。

SDGs の考え方は、何に関係しているのか、考える・分かるようにする。市としてペットボトルの回収をしており、結果としてごみ問題・環境問題へ取り組んでいることを分かりやすく伝える、というような話だと思う。

委員) 質問

医療について、近隣との連携を取っていくと回答があった。医療は充実させてほしい。健康でいられるのが一番だが、いざというときに安心していられるようにしてほしい。

情報関係で、市役所から情報を出すのがあたりまえだと思っていたが、市民一人ひとりが発信するという考え方は勉強になった。良いと思う

レンコンがカットされずに、節のままスーパーに並んでいることに、移住してから気づいた。行方市では当然だったが、他から見たら恵まれている状況・素材がある。情報発信はツールが沢山あるのだから、どんどんやってほしい。

会長) 感想・進行

健康は大事。情報発信の方法。行方市の情報をどのように有効に発信するか  
政策秘書課長) 回答

医療について、充実を目指しており、県にも要望を出しているが、県は鹿行地域で判断する。市としては調整を頑張りたい。健康という話が出たが、健康寿命、予防の観点に重点を置きたい。野菜は 80 品目とれる市の特徴もあり、100

人委員会で「ベジファースト」という話が出た。野菜大国ベジタブルファースト、食事の一口目はベジタブルファースト、これで売り出せないか。

情報発信、シティプロモーションに重点を置いているが、今後も充実させたい。各年代に同じツールを使ってきていたが、各年代に合った情報発信、効果的な情報発信を検討している。

#### 会長) 感想

高齢者もどんどん増えている。若い世代はスマホ・PCも使えるが、使えない層もいる。その人に合った情報発信はぜひともお願いしたい。

#### 委員) 情報提供

教育委員の立場で、行方市の教育についてお話ししたい。まちづくりは人づくり、こどもの教育が核になるのでは。日本型の学校、授業の良さを生かしながら、教育をしていく。教育の質が上がるよう取り組んでいる

一番に取り組むことは、学校の授業をどのように充実させるか。中央の大学の先生、文科省の方に講演に来ていただいて魅力づくりをしている。特別支援教育の充実、幼小保への助成なども行っている。特に力を入れているのは、GIIGAスクール構想。国の取り組みだが予算立ては市で実施するところで、他市は歩みが遅かったが、情報発信日本一を目指す行方市は県内でもトップクラスに早かった。

多様な教育として、ALTを前項に配置。外国人の先生と触れ合う機会あり。小学校では英語のキャンプ。グローバル化の現代、将来はグローバルに活躍する人材を育てる事。

しかし、グローバルな視点とローカルな視点を両方持ってほしい。田んぼを管理する人がいなくて大変なので、ローカルな視点も忘れてはいけない。雑草を刈る機械を発明するような大人に成長すればという個人的な願望もある。

子供をどのように教育していくか、が大事。活躍している人が行方市にはたくさんいる、そんな大人になれるように育てていきたい。

#### 会長) 感想

地域づくりには子どもを大切に育てていくことの大事さはその通り。物の考え方は変わっていく。教育格差もある、さまざまな問題もある。現場ではキツイという先生もいるのが実態。

#### 委員) 感想・提案

1. 100人委員会から出た意見を盛り込んだ、これは素晴らしい(感想)
2. SDGsについて丁寧に盛り込んでくれている、良い(感想)
3. 基本理念のところ、コメントで「この10年間で培ってきた市民力を背景に」と書いてあり、「市民力」という言葉がよかった。盛り込んだら?(提案)

会長) 感想・意見

市民力、いい言葉だと思う。取り入れられるだろうか？事務局から

政策秘書課長) 回答

校正の時に検討する。他の部分と見比べながら、表現を考える。

会長) 感想

どの話でも同じことだが、抱えている問題・現実は厳しい。それでも明るく話を進められたら。

委員) 質問・提案

総合戦略をどれほどの方が知っているか、というアンケートで、6割の方が知らないという結果。今後認知を挙げていくというのが、どうやって？  
シティプロモーションに力を入れているが行方市の「何」を発信していくのかを定めた方が良い。今は5つの重点だが、そのうちのどれ？もっと絞ってもよい。

メディアミックス、サイクリングの放送をしたら参加者がSNSなどで広めてくれる。ラジオ、テレビ、個人の取り組みをもっと増やして、メディアミックスの取り組みを増やしてはどうか。

政策秘書課長) 回答

6割の方が「知らない」、これは大きな課題。資料は分かりやすい、という評価を頂いたが、作っても見てもらわないと意味がない。まずは、見てもらいやすい「概略版」を作ることだと思う。いかに広められるか、はポイントだと思っている。

シティプロモーション、どのように進めるか。木村委員からもアイデアを頂いたが、市の「核」になるものを作っていく。6次産業化なども進めているが、もっと強く言えるものを考えたい。

メディアミックスの必要性は強く認識している。今後も努力していきたい。

会長) 感想

自治体間も、競争になっている。情報発信はどこもやっている。公民館などの公共施設も、どこの自治体にもあるけど差別化しようとしている。産業・情報発信も自分たちで強く発信していかないといけない時代である。

委員) 提案

SDGsで「海を守る」というものがある。霞ヶ浦のある行方市なので、環境保全・水質保全を頑張っって昔のように泳げるレベルまで戻していけないか、周辺市で協力できないかなど。貴重な資源だと思うので、やる価値はあると思う。

	<p>会長) 進行</p> <p>いいよね。やってほしい。事務局から</p> <p>政策秘書課長) 回答</p> <p>行方市は2つの湖に挟まれている。大事にしたい。水辺のレジャーに興味がある、という提案もある。ただし、夏にはにおいが出るなど、課題がある。水質浄化と水辺レジャーはセットで考える。</p> <p>提案のように水辺に興味を持っていただけるような取り組みを行っていきたい、なんなら市民に参加して欲しい。ごみを減らす、水質改善など協力を求めながらやっていきたい。</p> <p>(会長)</p> <p>これからは交流人口。行方市に来たい、なにかしたいという人をどれだけ増やすか</p>
--	---